

令和3年7月9日

保護者様

三木市立吉川小学校
校長 長谷川 珠里

吉川小学校開校を迎えて（13）

盛夏の候、保護者の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校教育にご理解ご協力を頂き深く感謝いたします。

さて、本校が開校して3カ月余りが過ぎましたが、保護者や地域の皆様のおかげで、落ち着いた学校生活を過ごす事ができています。

開校後の様子やご協力いただきたい事などを、前回まで（4/16付から7/2付まで計12回）に引き続き、これからも少しずつお伝えしていきますので、ご確認をお願いします。

なお、本校のホームページにも同様のものをUPしていますので、過去の文書も確認いただけます。必要に応じて、ご確認ください。

Ⅰ 気象警報時の対応等について

一昨日は、下校時の荒天に伴う対応について、ご協力いただきありがとうございました。加えて、この機会に引き渡しの方法等の確認をお願いします。お配りしている説明文書は、本校のホームページにも記載していますので、参考にしてください。（気象警報発表時の対応 ⇒ 引き渡し案内図）

【一昨日の対応について】

14：00頃 警報等の発表は無。雨雲レーダー等を再確認し、予定通りの時間に下校させる判断をする。

14：15頃 雨量が多くなり、予定どおりの下校か否かを再度協議。
バス通学については予定通りの時間に、教職員を乗車させた下校をさせる判断をする。徒歩通学の児童は各教室で待機。

14：25 上記の対応について、緊急メールで送信
「通学バス児童については、教職員が下校指導を行い、予定どおり下校させます。徒歩通学についても同様の対応とします。」

14：34 落雷の兆候を確認したので以下の対応とする旨、緊急メールで追加連絡送信。

「徒歩通学の児童は一旦、学校で待機させます。通学バス児童については、予定どおり学校を出ましたが、教職員が下校指導を行っています。保護者の迎えがない場合は学校まで戻り待機させます。その後の対応については、後ほど、連絡します。」

15:01 下校について 追加連絡2（緊急メール）

「徒歩通学の児童は一旦、学校で待機させています。今から引き渡しを行うので、来校してください。児童は体育館に待機させています。連絡している引き渡し方法が不明な方は、本校のホームページを確認してください。

通学バスの5号車は全員保護者へ引き渡しが完了しました。保護者がいない場合は学校へ連れ帰っています。帰校が確認でき次第、改めて連絡しますのでしばらくお待ちください。」

15:18 下校について 追加連絡3（緊急メール）

バス通学児童の引き渡し状況を報告。3号車の2家庭は引き渡しのため、来校いただくように連絡。

15:37 下校について 追加連絡4（緊急メール）

少し、雨量が少なくなったので、まだお迎えの無い徒歩通学児童は教職員が下校指導を15:45から開始する事とバス通学全児童の引き渡し完了を報告。

16:10 徒歩通学児童の下校指導を担当した教職員の帰校を確認し、教職員打ち合わせを実施。

16:25 気象警報発表。

上記の対応の課題は整理し、改善案を後日お伝えします。

- 1 警報が発表されていなくとも、引き渡しを実施する場合の対応について。
- 2 通学バス利用児童の引き渡しについて
地域の保護者等に一緒に連れて帰ってもらった児童も一部いますが、その方が引き渡しカードに記載されていない場合の対応等について
- 3 アフタースクール利用児童への対応
- 4 荒天等で通学バスの発車を遅らせる場合の連絡体制等について 等

気象警報が朝の7時に発表されている場合は、臨時休校です。登校後に気象警報が発表された場合は、状況を判断して引き渡しをする事としています。その際には、緊急メールでお伝えする事となっていますが、安全を最優先にするため、下校時刻が予定より遅くなる

場合がありますが、ご了解ください。可能な限り、時間的に余裕を持った連絡ができるように対応していきます。

2 新型コロナウイルス感染症対策と学びの継続

(1) 令和3年度「ひょうごがんばりタイム」について

※ 以下は「吉川小学校開校を迎えて（5）」でお伝えした内容です。

- ①事業名 「よかわっ子 チャレンジタイム」
- ②実施時期 令和3年6月29日（火）～令和4年2月8日（火） 全23回
※新型コロナウイルス感染症対策のため予定を変更する場合があります。
- ③対象学年 1～3年生の希望する児童
- ④実施曜日と時間帯 原則 火曜日 14時25分～15時5分（待ち下校の時間帯）
- ⑤実施方法
 - ア 指導者 教員志望の大学生、地域人材等
 - イ 学習内容 児童の学力状況を踏まえ担任と指導者が連携を図り、国語・算数を中心に補充・発展プリントやタブレットドリル等にも取り組む。
- ⑥実施場所 吉川小学校 該当学年教室等
- ⑦その他 習熟度に応じた学校が用意したプリントから児童が自分で選んで取り組むようにします。なお、タブレットドリルなどの取組も実施します。

1年～3年の保護者には別途、意向確認兼参加申込書をお配りした結果、参加希望児童は1年生27人、2年生19人、3年生13人でした。新型コロナウイルス感染症対策としての緊急事態宣言が解除されましたので、予定どおり、6月29日（火）に実施しました。その時の様子です。

1年生



2年生



3年生



現在、指導者は3名（大学生は2名）となっています。2年生や3年生は指導者の支援を受けながら、国語・算数を中心に補充・発展プリントやタブレットドリル等にも取り組む事ができています。

1年生は当面の間、図書的时间とし、読み聞かせボランティアのご協力を得ながら前

半は絵本の読み聞かせ、後半は視写等に取り組む事としています。

7月6日（火）絵本の読み聞かせ（1年生）の様子です。



3 『フォートナイト』等のオンラインゲームで子どもに起きている5つのトラブルと保護者がすべき対策について（高橋暁子 成蹊大学客員教授／ITジャーナリスト引用）

※「吉川小学校開校を迎えて（12）」の続きです。

トラブルは、主に「子ども自身の暴言」「仲間はずれなどのいじめや人間関係トラブル」「高額課金」「長時間プレイなどの依存問題」「知らない人とプレイすることでの個人情報漏洩や出会い系被害」の5つに大別される。

「子ども自身の暴言」と「仲間はずれなどのいじめや人間関係トラブル」はつながっている。子どもがゲームで悪口や暴言を吐くようになり、その結果いじめや人間関係トラブルにつながる例はとても多いのだ。

「子どもがボイスチャットで『死ね、消えろ』と口汚く罵り合いをしている姿を見てショックを受けた」と、ある小学生男児の母親はショックを隠さない。「ボイスチャットができない子がグループにいるみたいで、その子の悪口を堂々と言っていたこともある。『キックされた』とか落ち込んでいたこともあるし、もうやらせたくない」

「キック」、つまりグループから外されて、仲間はずれになったという話も多い。チームプレイで生き残りをかけて争うため、下手だという理由でグループから「キック」されてしまうのだ。これが、学校での仲間はずれやいじめにつながる例もある。

暴言やいじめ問題は、そもそも殺し合いをするバトルロイヤル系ゲームなので起きやすいことは知っておくべきだろう。後ほど述べる通り、たとえば『フォートナイト』の対象年齢はCEROで15歳以上だ。このような問題が起きるため、このようなレーティングなのだ。自分の子どもが暴言やキック問題などを周囲に影響されずにスルーできるのかどうか考えた上で、利用させる必要があるだろう。

次回に続きます。